

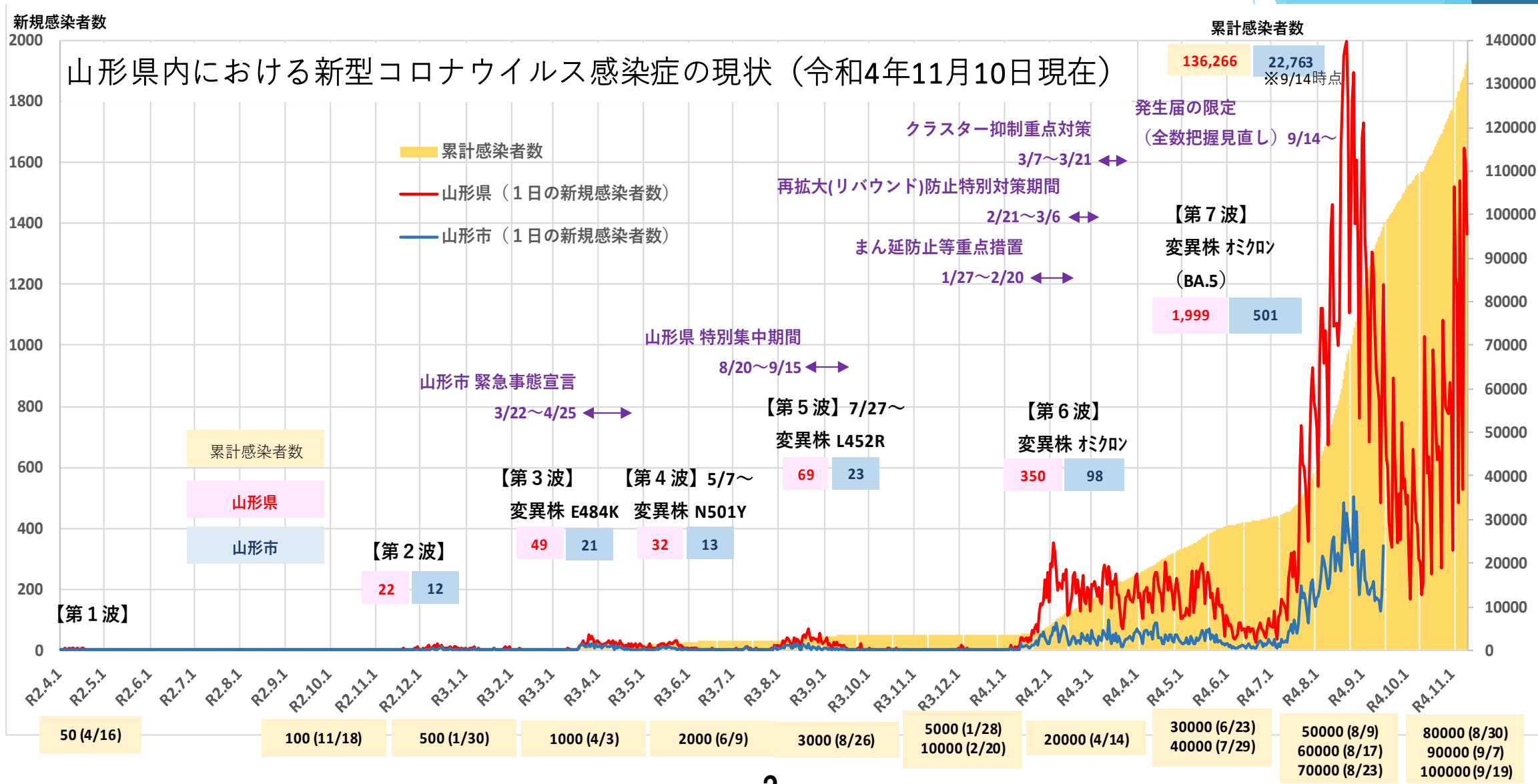
わくわく未来・フレッシュ山形の会 市政報告会

令和4年度の山形市政について

山形市長 佐藤孝弘

令和4年11月22日

山形市の新型コロナ感染者数の推移



オミクロン株対応2価ワクチン接種について

オミクロン株の流行が続く中、重症化予防はもとより、感染や発症を予防する目的で、オミクロン株対応2価ワクチンの接種体制を整備

▶ 接種対象者

初回接種（1・2回目接種）を完了した12歳以上の全ての方（1回のみの接種）



▶ 接種間隔

前回の接種から3か月以上経過した方

▶ 使用するワクチン

ファイザー社2価ワクチン 12歳以上の方
※個別接種、公民館での集団接種に使用
モデルナ社2価ワクチン 18歳以上の方
※12月に行う保健所での集団接種に使用



▶ 接種券

4回目接種を従来型ワクチンで接種した方への5回目の接種券については、10月31日より送付を開始
新たに4回目接種の対象者となる12歳から59歳までの方については、10月21日以降に送付予定であったが、前倒しし、10月6日より送付を開始



各医療機関で実施する個別接種（12月・1月）

実施期間	令和4年12月1日(木)～令和5年1月31日(火)
予約開始日	【1月分】 令和4年12月14日(水) 午前9時～



集団接種（12月・1月）

実施期間	【山形市保健所】 令和4年12月1日(木)～令和5年1月31日(火) 【霞城公民館・東部公民館】 令和4年12月1日(木)～12月17日(土) 12月25日(日)～12月28日(水) 【江南公民館】 令和4年12月1日(木)～12月17日(土) 令和5年1月14日(土)～1月29日(日)
時間	月～金 午後7時～午後9時 土 午後2時30分～午後5時30分 日・祝 午前10時～午後1時 午後2時30分～午後5時30分
予約開始日	令和4年11月14日(月) 午前9時～



山形市新型コロナPCR検査センターについて

○新型コロナPCR検査センター山形市十日町三の丸前店

- ・ **設置場所**: 山形市十日町山形市十日町一丁目(山形城三の丸土塁跡西側)
※敷地内駐車スペース8台分・市営香澄駐車場利用は無料駐車券交付
- ・ **検査時間**: 9:00～17:00
- ・ **定休日**: 月曜日、木曜日

○設置の目的および経緯

新型コロナウイルス感染予防・感染拡大防止のため、令和3年7月に木下グループと「PCR検査の普及及び実施に係る応援協定」を締結し、山形市と木下グループ共同で新型コロナウイルスPCR検査センターを設置その後、令和4年3月30日、最上義光歴史館隣より現在地へ移転



○PCR検査について(専用HPからの事前予約制)

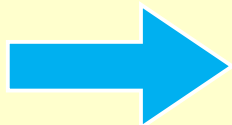
- ・ **検査方法**: PCR検査キットによる唾液採取
検査の翌日に検査完了メールが届き、専用サイトで確認
- ・ **対象者**: 無症状で濃厚接触者でない方(住所要件なし)
- ・ **支払い**: キャッシュレス決済(電子マネー、クレジットカード等)
- ・ **検査料**: 1,900円
※11月30日まで感染に不安を感じる山形県在住の方は無料

令和4年度当初予算

一般会計予算総額 993億6,800万円(過去最大)

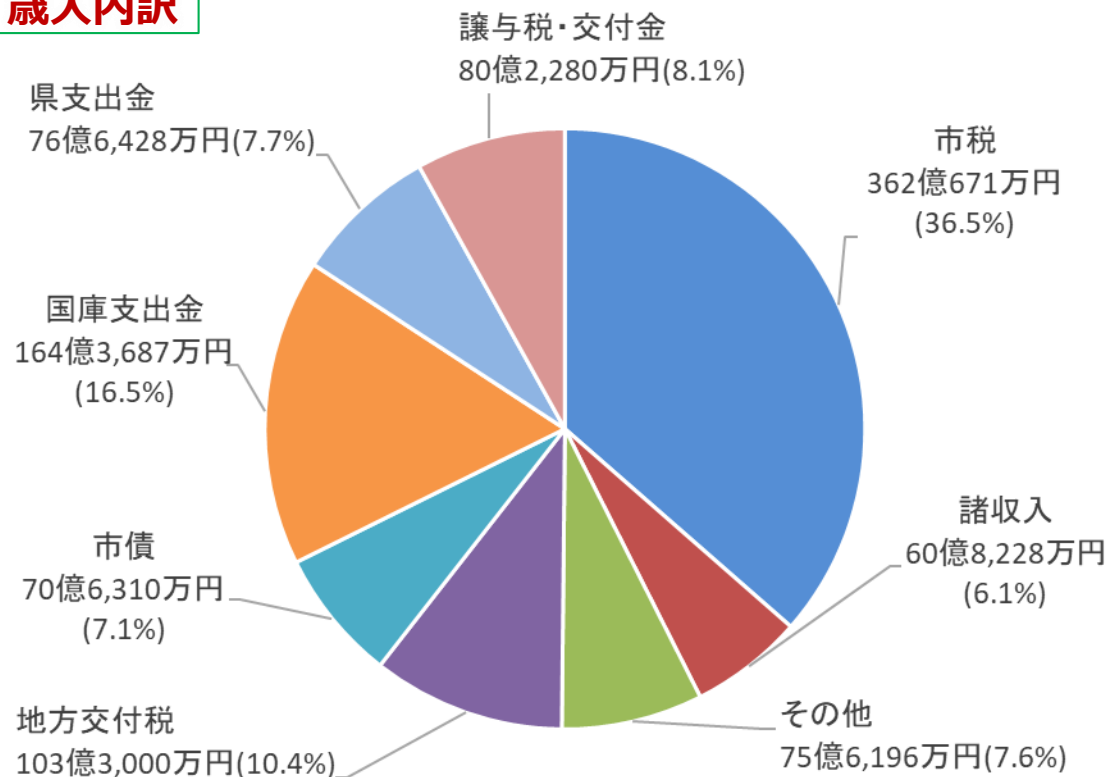
「アフターコロナに向けた地域経済の活性化」と「未来を担う子どもたちの健やかな成長」に重点を置いた予算編成

多くの戦略的施設をオープン

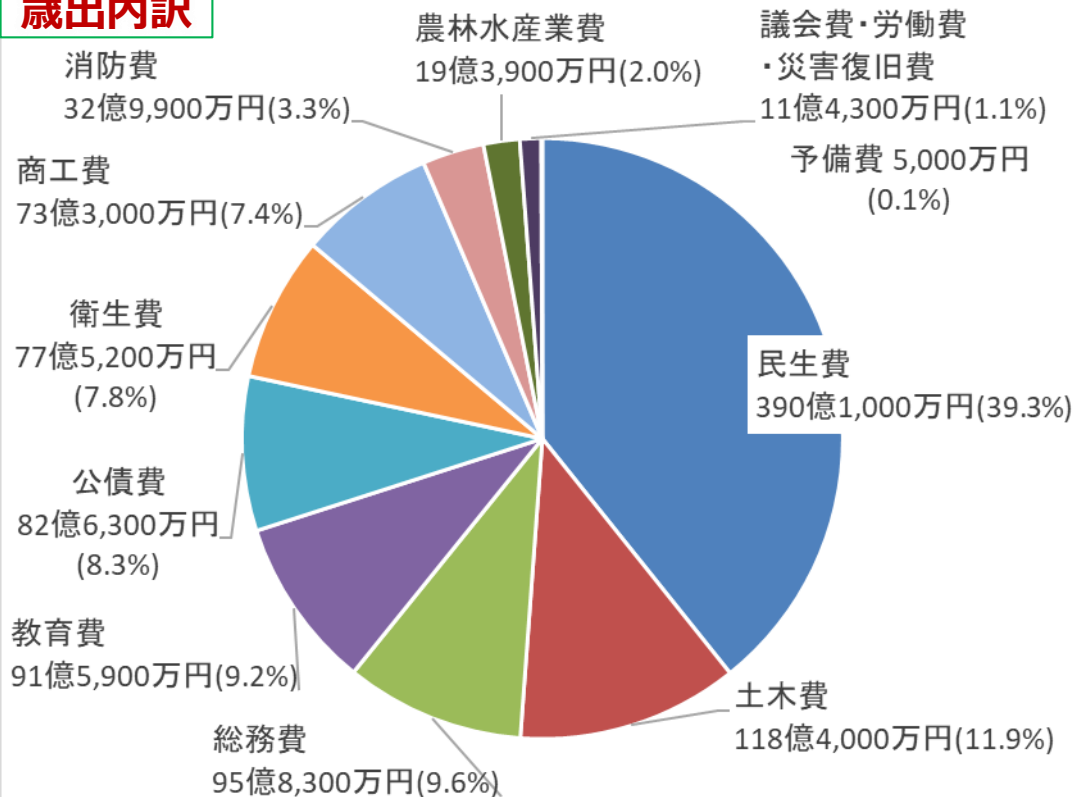


今後の山形市を方向づける大事な1年と捉え、積極的な未来への投資を進める

歳入内訳



歳出内訳



新たな山形市立商業高等学校

令和4年4月

校舎棟・体育館完成

【整備の特徴】

①充実した学習環境

- ・普通教室：65型ディスプレイ(電子黒板兼インフォメーションモニター)の設置
- ・ラーニングcommons：200席の食堂、放課後は図書館と連携し目的に合わせ自由に利用が可能
- ・輪誠ホール：200インチスクリーン、360人収容の階段教室
- ・アクティブラーニング室：150インチスクリーン3面同時投影可能、グループワーク・プレゼンなどができ「創造的で自由な学習環境」を創出
- ・ICT教室：デスクトップPC・2in1PCなど460台整備され、最先端のICT学習環境

②体育施設の充実

- ・第一体育館：バスケットボールコート3面
- ・第二体育館：バレーボールコート2面
- ・その他：レスリング場・剣道場・トレーニングルーム

③快適な学習環境 全ての教室・実習室・体育館に冷暖房を完備

④避難所 防災機能を備えた避難所(太陽光発電・マンホールトイレ・災害用井戸)

* 屋外運動場、野球場、庭球場は令和5年11月に供用開始予定

校舎外観



輪誠ホール



ラーニングcommons



アクティブラーニング室



トレーニングルーム



南沼原小学校新校舎完成

P F I 事業手法により校舎等の改築を実施（令和2年10月～令和4年10月）

校舎棟 : 鉄筋コンクリート造、3階、
屋内運動場等 : 鉄骨造、1階
プール : 2槽

延べ床面積・・・12,092.14㎡

校舎9,024.45㎡、屋内運動場1,532.04㎡

放課後児童クラブ173.34㎡、プール棟1,362.31㎡

令和5年1月10日
供用開始予定

校舎外観



階段教室



体育館



メディアセンター（図書室）



プール（2槽）



児童育成クラブ キンダーシュール アネシス

新校舎の中に放課後児童クラブの専用スペースを確保。
南向きの窓からは明るい陽射しが差し込み、暖かく包み
込むような、アネシス（安心）な施設です。



教育施設の整備

■ 山形市立西山形小学校の改築

校舎等の耐震化及び活断層帯からの移転を図るため、改築を実施

令和3年9月 工事着工
令和5年1月 完成予定
令和5年2月 供用開始予定

○建物の概要

構造・・・校舎棟：鉄筋コンクリート造、3階
屋内運動場（校舎棟に含む）
プール：1槽

延べ床面積・・・3,195㎡
（校舎2,483㎡、屋内運動場624㎡、プール棟88㎡）



■ 山形市立第九中学校校舎増築事業

第九中学校の生徒数の増加に対応するため校舎の増築及び既存校舎の改修を行う（令和3年度～令和5年度）

令和4年度 増築工事（普通教室5、図書室等）
令和5年4月 増築棟供用開始
令和5年度 既存校舎改修工事
（特別教室、特別支援室等の整備）
令和6年3月 既存校舎改修工事完成

■ 山形市立出羽小学校屋内運動場の改築

屋内運動場とプールを再配置のうえ改築を行い老朽化・狭隘の解消を図る

事業期間：令和4年度～令和9年度

シェルターインクルーシブプレイス コパル (南部児童遊戯施設)

令和4年4月18日
オープン



©コパル



©コパル



©コパル



©コパル



新建築 令和4年7月号 表紙

開館時間

屋内施設

9:00～18:00

体育館の専用使用 9:00～22:00

屋外施設

9:00～18:00

(10～3月は16:00まで)

休館日

毎月第2・4火曜日(祝日の場合は翌日)

1月1日

9

- ・所在 大字片谷地字谷地
- 屋内：大型遊戯場、体育館、多目的室、図書コーナー
視聴覚コーナー、子育て相談コーナー
休憩・飲食コーナー など
- 屋外：正面広場、緑地・遊戯広場、駐車場(300台)

ネッツえがおフィールド(山形市あかねヶ丘陸上競技場)

【背景と経緯】

- 令和3年度から山形県より無償で施設を借り受け管理
- 令和4年度は、3種公認更新に係る改修工事等が終了したことに伴い、通年運営
 - ※3種公認：日本陸上競技連盟公認の県大会規模の大会開催が可能となり、公式な記録として扱われる。
- 新たにネッツトヨタ山形株式会社と令和4年4月から4年間について、ネーミングライツ契約を締結。



【施設概要】※年間利用者 約12万人

- トラック(1周400m・8コース、3000m障害水濠)
- フィールド(走幅跳・三段跳、棒高跳、走高跳、槍投ハンマー投など)
- 風除室(80m・6コース)
- 収容人数 約2,000名(芝生スタンド)
- 主な大会 市小学校陸上運動記録会、市中体連全日本中学校通信陸上大会 など

やまがたクリエイティブシティセンターQ1

令和4年9月1日
オープン

- 概要
- ・創造都市の拠点施設として、山形まなび館（第一小学校旧校舎 昭和2年竣工 山形県下初の鉄筋コンクリート造）をリノベーションし、再活用
 - ・公民連携（東北芸術工科大学との連携）による手法を用い、施設整備は山形市、運営は民間運営団体。

3F. WORK & DESIGN

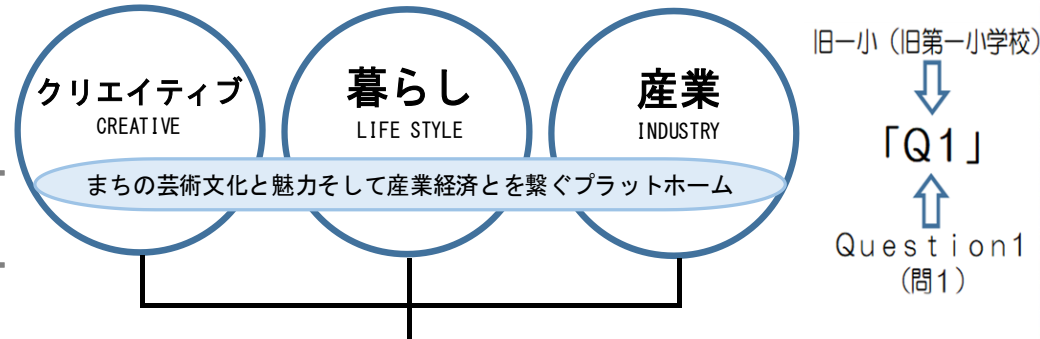
デザイン

2F. PLAY

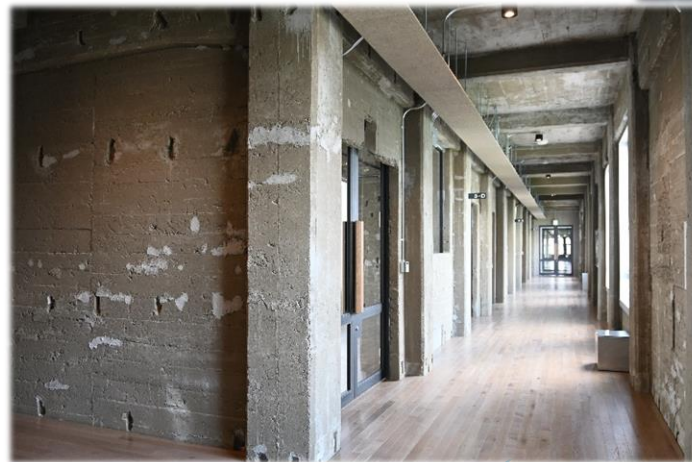
映像・音楽・メディアアート

1F. LIVE

食文化・文学・クラフト&フォークアート



山形の日常を、もっと楽しく、クリエイティブに
第一小学校旧校舎／創造都市やまがたの拠点



やまがた秋の芸術祭

- ・新型コロナウイルス感染症により自粛を余儀なくされていた文化芸術の鑑賞・発表の機会の創出
- ・まちなかをステージ等に見立てた音楽や美術の催しで賑わいを創出
- ・「山形ビエンナーレ」・「山形市芸術祭」と連携し、市内各所で市民が音楽や絵画に触れる機会を提供
- ・創造都市の拠点施設「やまがたクリエイティブシティセンターQ1」のオープンに合わせたイベント開催



【開催期間】 令和4年9月1日～12月4日



アンサンブルコンサート



ストリートピアノ

ウォーカブルなまちなかづくり

■ 中心市街地に滞在空間創出

七日町大通りやすすらん通りなどにおいて、道路などの公共空間を有効活用し“人々が集い憩い多様な活動のできる滞在空間の創出を行う。社会実験を重ね、アンケート等効果を検証しながら「ウォーカブル推進都市」に相応しい居心地が良く歩きたくなる（ウォーカブルな）まちなかづくりを進める。

■ 社会実験（令和4年度）

七日町大通り



広場公園、公開空地の利活用

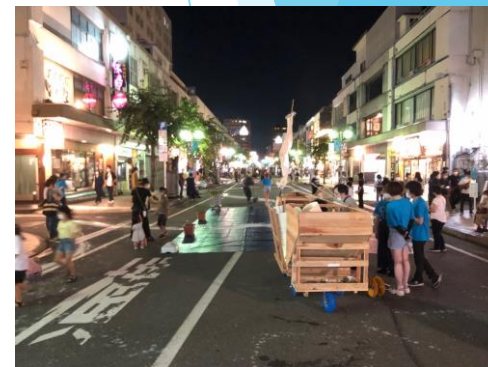


歩道の一部にテーブルやベンチ等を置き滞在空間創出

すすらん通り



路上駐車スペースにパークレット設置



山形ビエンナーレ

陳列所裏通線



路肩の一部にイスやテーブル等を置いてテラス化



市役所敷地東側

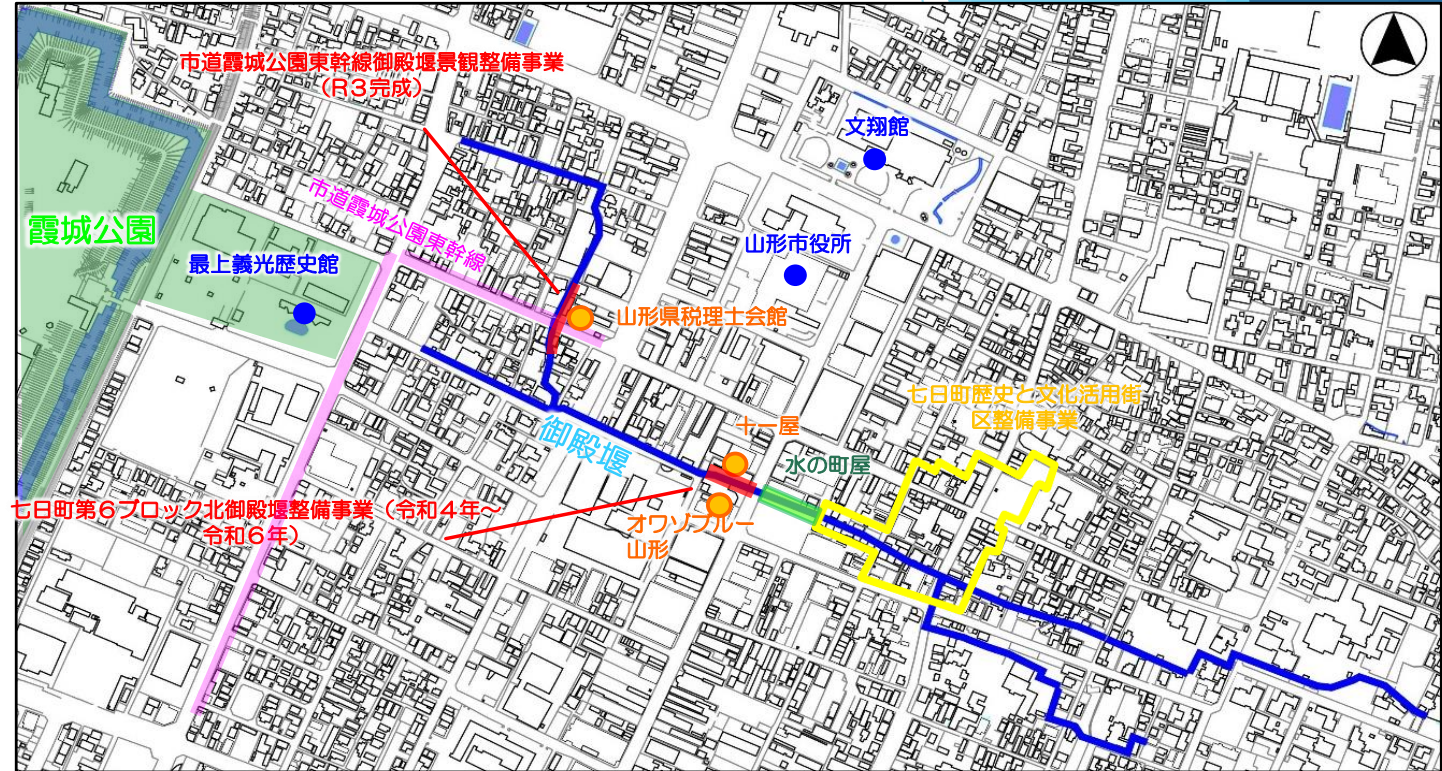


御殿堰を活かしたまちづくり ①

■市道霞城公園東幹線御殿堰景観整備事業 (令和3年3月完成)



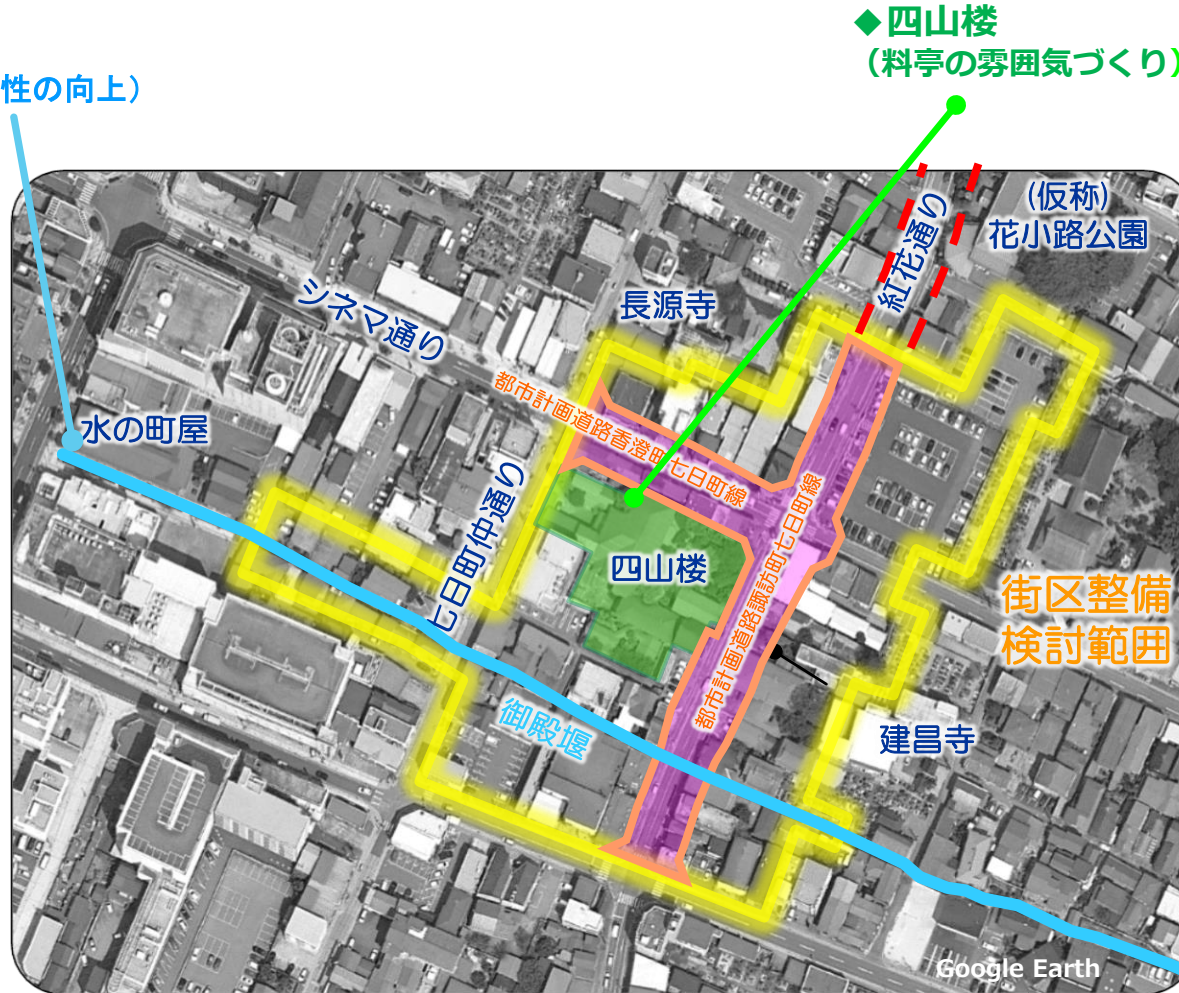
■七日町第6ブロック北御殿堰整備事業 (令和4年～令和5年)



御殿堰を活かしたまちづくり ②

■ 七日町歴史と文化活用街区整備事業

◆ 御殿堰
(東西文化軸、せせらぎの道による回遊性の向上)



粹七 粋な町 七日町 (イメージ映像)



旧大沼、千歳館の利活用

旧大沼の利活用について

将来、中心市街地の活性化をけん引する地域となるよう、
利活用及び周辺を含む再開発を検討

●旧大沼利活用の検討内容

プロジェクトチームを組織し検討を推進

- (1)短期的利活用：旧大沼のセットバック部分を活用し、イベント等により賑わいを創出
- (2)中期的利活用：長期的利活用を開始するまでの間の、旧大沼の利活用を検討
- (3)長期的利活用：市立病院済生館や旧大沼周辺エリア一帯での再開発を検討
(R3年度：サウンディング型市場調査を実施)

千歳館の利活用について

公園空白区域の解消に向けた都市公園整備と国登録有形文化財
である建物の利活用策を検討

●コンセプト

伝統文化の継承と癒しの空間創造による賑わい創出及び交流
人口の拡大

●今後の予定

サウンディング調査結果を踏まえ、事業者の公募に向け、建物に求める機能や整備の方向性などをまとめた「基本構想」を策定予定

●公園整備関係：（仮称）花小路公園整備事業（令和3年度～令和8年度（予定））

都市公園整備にあたっては、文化財建造物との一体性と調和性を持った利活用の検討を行い、中心市街地における魅力ある緑のオープンスペースとしての整備を行っていく。



景観形成の推進

観光地などの特徴ある景観を有する地区を「景観重点地区」に指定し、歴史や文化、賑わいの感じられる魅力ある景観まちづくりを進めます。令和3年3月には山寺地区及び蔵王温泉地区を景観重点地区に指定しました。令和4年度以降は、七日町御殿堰周辺地区の景観重点地区指定を目指します。

【景観重点地区指定の要件】

- 山形市のシンボルや顔としてのアピール性のある地区
- 特徴あるまちなみや建築物が集積する地区
- 新たな魅力あるまちなみの創出が期待される地区 など

【主な取り組み】

- **地区の特徴を生かした景観まちづくり**
地区の方々の意見を踏まえ、地区独自の景観形成方針や基準、屋外広告物の設置基準を設定。
- **地区の方々による景観まちづくり活動の支援**
 - ・ 地区独自の景観形成方針や基準に合致させる修景工事等を補助
（建築物の改修や屋根の塗り替え、まちなみに調和する屋外広告物の誘導など）
[景観重点地区景観形成事業費補助金]
 - ・ 景観まちづくり活動に対する技術的・財政的支援
[景観まちづくり事業費補助金]
 - ・ まちなみデザインアドバイザー（専門家）の派遣 など



期待する効果

郷土への誇り・愛着の醸成、地域活力の向上、交流人口の増加



山寺



蔵王温泉



御殿堰周辺

サマースキージャンプ2022山形蔵王大会

開催日 令和4年8月20日(土)

主催 (公財)全日本スキー連盟、山形県スキー連盟等

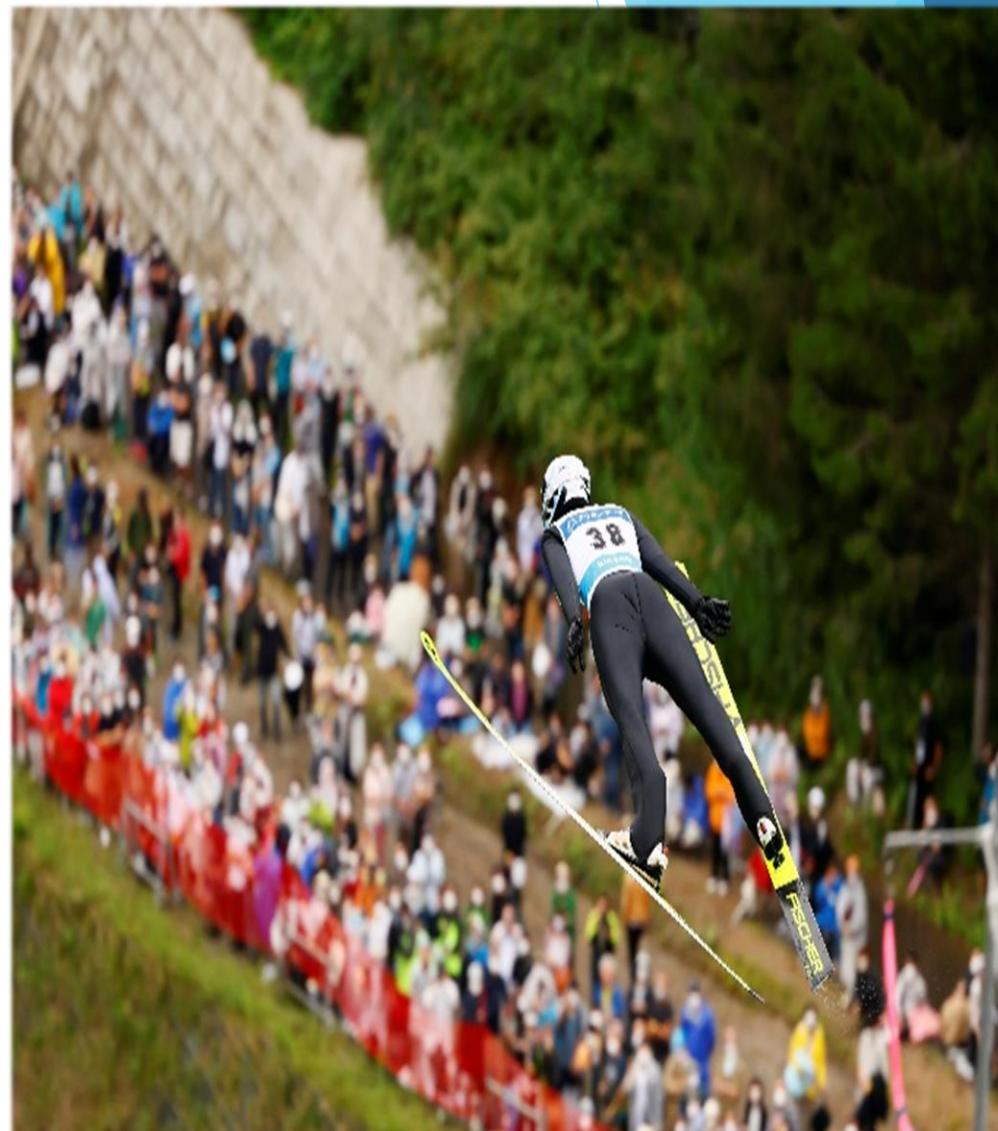
場所 アリオンテック蔵王シャンツェ(蔵王ジャンプ台)

参加選手 男子:成年44名 少年38名 計82名、女子31名

観戦者数 2,100名

各種イベント

- ・YouTubeを活用したライブ配信
- ・VRゴーグルを使用した仮想スキージャンプ体験
- ・飲食店の出店、公式グッズの販売
- ・ふるさと納税の返礼品による観戦ツアー
- ・アリオンテック蔵王シャンツェバックヤードツアー



・成年男子

1位 小林 陵侑 選手 (土屋ホームスキー部)

※2本目108.5mバックンレコード

国際競争力の高いマウンテンリゾート形成促進事業

目的 蔵王温泉スキー場、蔵王ライザワールドスキー場、蔵王猿倉スキー場を
四季を通して楽しむことができる国際競争力の高いマウンテンリゾートへ！

概要 目的達成に向けた強力な実施体制の構築及び受入環境整備の実施

推進体制

蔵王マウンテンリゾート形成推進連絡協議会

マウンテンリゾート形成の関係者（行政・観光協会・索道事業者・地元金融機関等）で構成し事業を実施

- ・マウンテンリゾート形成に向けた計画の策定
- ・ワークショップを通じた3つのスキー場間の連携強化
- ・3つのスキー場エリアのマーケティング

これまでの主な取組

蔵王温泉スキー場では、受入環境整備を実施

- ・人工降雪機の増設 → スキー場の営業期間安定化
- ・リフトの撤去及びリニューアル
- ・リフト券のWeb販売のシステム構築
- ・宿泊施設や観光施設の高付加価値化改修による魅力アップ 等

体制強化
・
整備推進

令和4年度の取組

蔵王温泉でのDMC設立

蔵王温泉のブランド確立に向け、蔵王温泉地域全体の公益と振興に寄与する事業を行うDMCを8月に設立
→連携主体を明確化。3スキー場間のさらなる連携体制を強化

さらなる受入環境整備の実施

- アフターコロナに向けた受入環境整備を重点的に実施
- ・ベースタウンの高付加価値化改修（宿泊施設・観光施設）
 - ・インバウンドの受入に向けたセミナーの実施 等



山寺の賑わい創出

<無電柱化事業>

- ・良好な景観の形成
- ・防災機能の向上

歴史・文化資源を生かした観光の振興
観光客数の増加
地域の活性化

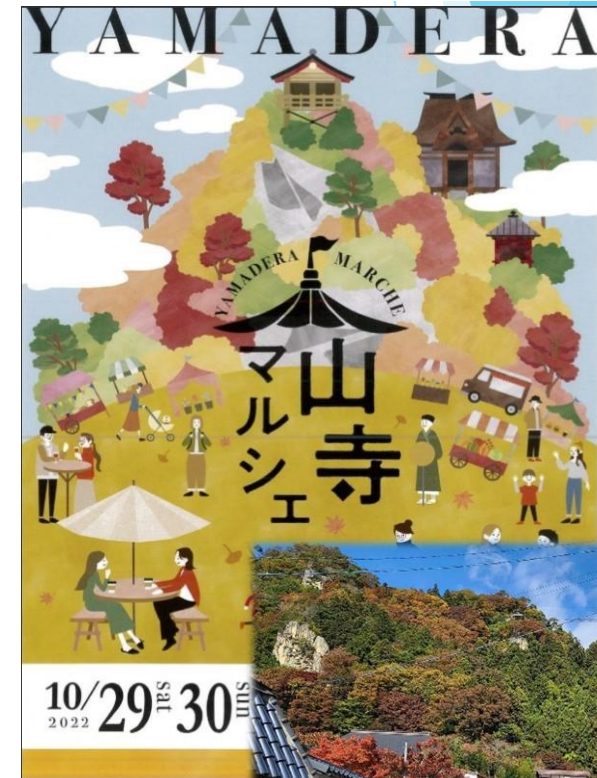


- ・整備延長 818m (片側予定)
- ・全体事業費 約5.5億円 (見込み)
- ・R4事業費 約2,200万円
- ・事業完了予定 令和15年度見込み
- ・主な事業内容 電線共同溝、側溝敷設 舗装(美装化)ほか

<山寺マルシェ>

宝珠橋や門前町通りを歩行者天国とし、地元の果物や野菜、キッチンカーやクラフトショップなどが立ち並びました。

令和4年10月29日(土)・30日(日)



さらなる産業団地の確保

■（仮称）山形北インター産業団地開発事業について

【事業の背景】

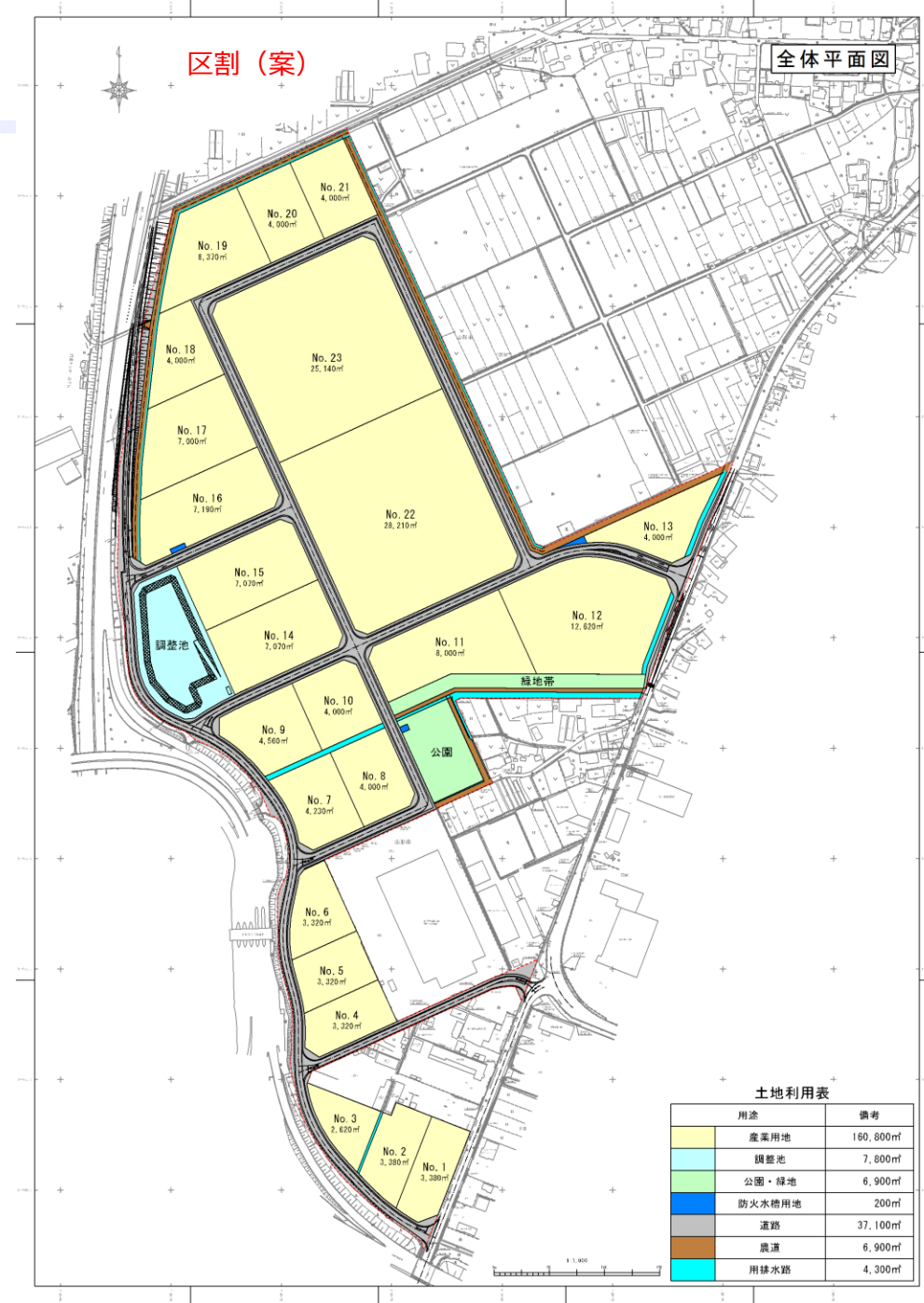
- 山形中央インター産業団地が平成30年12月に分譲完了。
市内の産業団地において提供できる分譲地がない状況。
- 産業の活性化と魅力ある雇用機会の創出には、企業誘致や市内企業の業務拡大による移転拡充の受け皿として、さらなる用地の確保が必要。

【事業の内容】

- 山形自動車山形北IC北東側の寺西地区周辺を最終候補地として選定。
- 令和2年5月に「基本計画」を策定。早期開発に向けて西側区域（約22.4ha）から先行整備する計画。
- 区割（案）⇒約3,000m²～約28,000m²の23区画

【想定スケジュール】

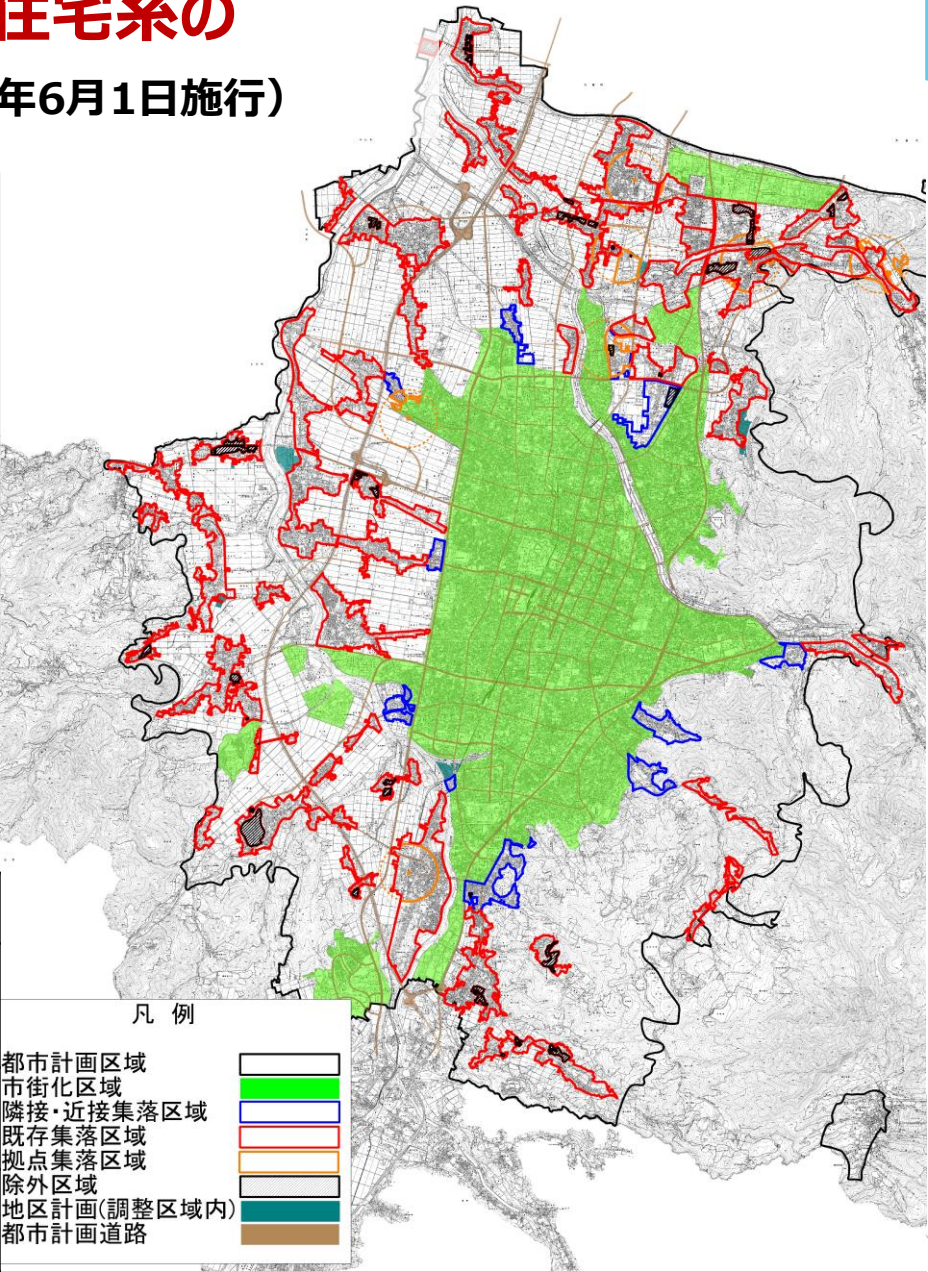
- 令和3年度⇒実施設計、用地測量、物件調査、農振除外
- 令和4年度⇒地区計画策定、農地転用、開発許可、用地取得
- 令和5年度⇒造成工事開始
- 令和8年度⇒竣工



市街化調整区域における住宅系の規制緩和について（平成29年6月1日施行）

これまで、市街化調整区域内の住宅については、原則として農業従事者やいわゆる地縁・血縁者の住宅建築しか認めてきませんでしたが、条例を改正し、住宅建築について「人」の要件を撤廃し、市街化調整区域の集落内に点在する空き家や空き地を有効活用できるように改めました。

	改正前	改正後
市街化区域 隣接・近接集落区域	8区域	22区域
既存集落区域	0区域	165区域
拠点集落区域	0区域	7駅25区域



地区ごとの住宅系許可実績
H29.6.1～R4.10.31

地区名	件数	戸数	地区名	件数	戸数
出羽	92	248	東沢	21	87
千歳	70	218	滝山	21	35
金井	66	119	明治	20	26
南山形	61	202	本沢	20	21
楯山	58	84	西山形	18	20
蔵王	54	94	鈴川	16	50
大郷	46	107	大曾根	12	12
飯塚	40	76	高瀬	11	14
南沼原	40	88	村木沢	8	13
榎沢	27	58	山寺	4	4
合計				705	1,576

※住宅系の許可件数であり、住宅以外の用途の許可件数は除いたものです。

地価の状況

令和4年度山形県地価調査結果より

■県内の地価調査の状況

(令和4年7月1日現在)

- ・県内の平均変動率：マイナス0.4%
(前年：マイナス1.0%)
- ・県内商業地の変動率：マイナス0.7%
(前年：マイナス1.3%)

■山形市の地価調査の状況

前年より住宅地・商業地・工業地で
変動率が上昇

- ・住宅地：プラス1.9%
(前年：プラス1.5%)
- ・商業地：プラス1.2%
(前年：プラス0.1%)
- ・工業地：プラス0.6%
(前年：プラス0.3%)

◇地価調査 市町村別対前年平均変動率

(単位%、▲はマイナス)

市 町 名	住宅地	商業地	全用途	市 町 名	住宅地	商業地	全用途
山形市	1.9	1.2	1.6	大江町	▲1.0	▲1.4	▲1.1
米沢市	▲0.1	▲1.0	▲0.4	大石田町	▲1.1	▲2.0	▲1.4
鶴岡市	▲0.8	▲0.6	▲0.7	金山町	▲1.7	▲2.9	▲1.9
酒田市	▲0.3	▲0.8	▲0.3	最上町	▲1.2	▲0.9	▲1.1
新庄市	▲0.5	▲0.9	▲0.6	舟形町	▲1.0	▲0.6	▲0.9
寒河江市	▲0.3	▲0.3	0.0	真室川町	▲1.7		▲1.7
上山市	▲0.7	▲3.0	▲0.8	大蔵村	▲1.9	▲1.9	▲1.9
村山市	▲1.1	▲1.2	▲0.9	鮭川村	▲1.8	▲1.9	▲1.8
長井市	▲1.1	▲1.5	▲1.2	戸沢村	▲1.8	▲2.5	▲2.0
天童市	1.2	▲0.7	0.7	高畠町	0.2	▲0.6	0.0
東根市	▲0.1	▲0.3	▲0.1	川西町	▲1.1	▲2.2	▲1.4
尾花沢市	▲1.4	▲1.6	▲1.2	小国町	▲1.1		▲0.8
南陽市	▲0.5	▲1.5	▲0.7	白鷹町	▲0.9	▲2.0	▲1.2
山辺町	0.1		0.1	飯豊町	▲0.8	0.0	▲0.6
中山町	▲0.5		▲0.5	三川町	▲0.4	0.0	▲0.3
河北町	▲0.6	▲0.9	▲0.4	庄内町	▲0.8	▲2.3	▲0.9
西川町	▲1.9	▲1.9	▲1.9	遊佐町	▲1.0	▲1.1	▲0.8
朝日町	▲0.9		▲1.0	県 計	▲0.4	▲0.7	▲0.4

公共交通の充実①

■新たな「山形市地域公共交通計画」を策定（令和3年3月）

【概要】

「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき、地域にとって望ましい公共交通ネットワーク及び交通サービスの構築に関する取り組みをまとめた計画。

【計画期間】

令和3年度（2021年）から令和7年度（2025年）までの5年間。
本計画では、概ね15年後（2035年）の公共交通ネットワークの構築を目指し、計画期間内において短期的に実行可能な施策に取り組む。

【山形市における公共交通ネットワークビジョン】～15年後の将来像～

公共交通の骨格となる「交通軸」の形成と、各骨格が交差する「交通結節点」の整備

《交通軸》

鉄道やバス、タクシーといった既存の公共交通のほか、自家用有償運送や福祉輸送など様々な輸送資源で構成

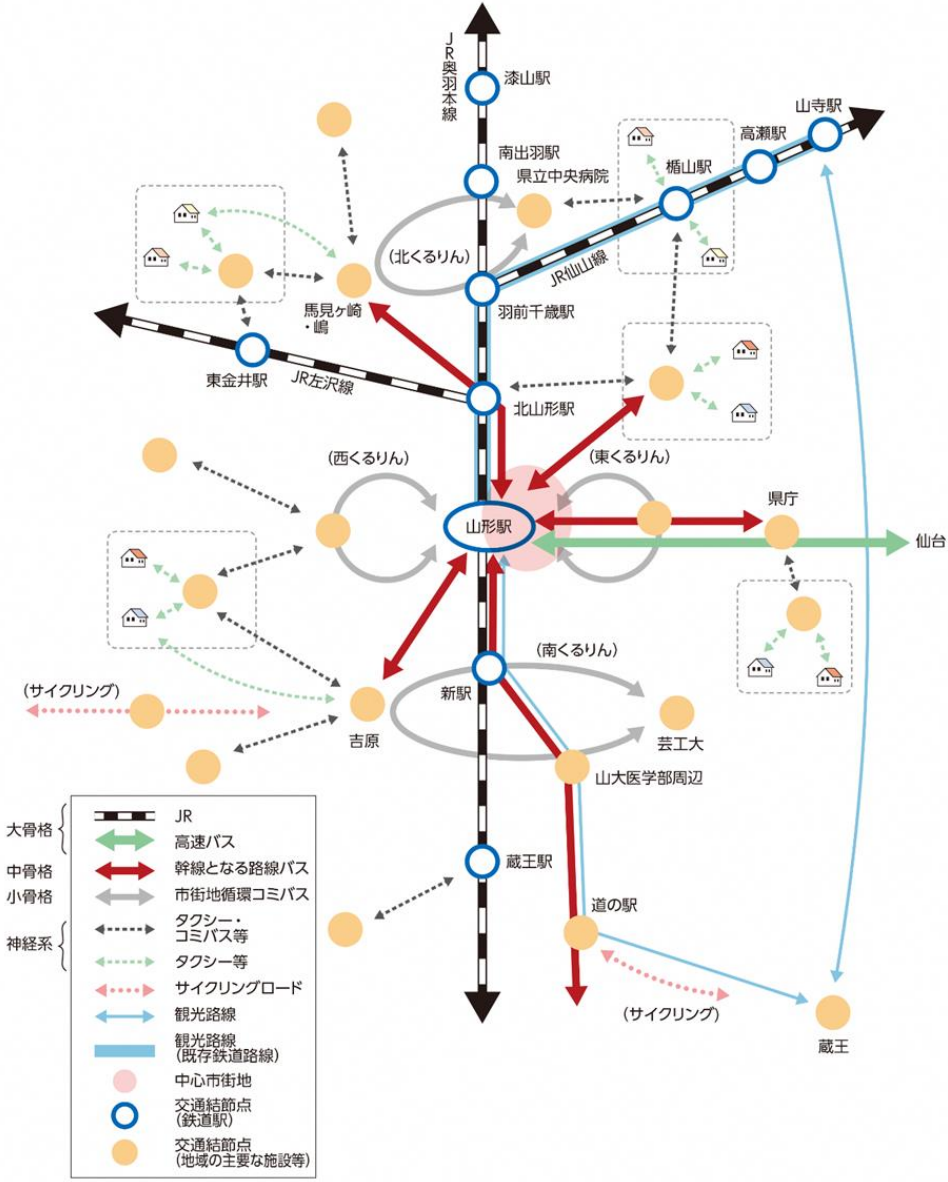
有機的に接続

《交通結節点》

鉄道駅のほか、公民館やコミセン、総合病院、学校、商業施設といった地域の重要な拠点となる場所や施設

市民の様々な移動ニーズにきめ細やかに対応した
効率的で効果的な公共交通の実現

【公共交通ネットワークビジョン（イメージ）】



公共交通の充実②

5年間の
基本方針



『まちづくりの将来像を見据え、様々な移動ニーズに対応しながら
機能的・効率的で、わかりやすく使いやすい公共交通を順次整備します』



【公共交通ネットワークの構築に向けた主な施策】

■コミュニティバス等運行事業

●ベニちゃんバス「西くるりん」「東くるりん」の運行



(西くるりん)



地域連携ICカード
「ヤマコウチェリカ」の導入

●コミュニティバス高瀬線及び 地域交流バス南部線の運行

●自主運行交通「スマイルグリーン号」への支援



(コミュニティバス高瀬線)



(スマイルグリーン号)

■モデル地区検討事業

●実証運行の実施

①村木沢地区（あじさいバス） ＜令和4年9月7日～＞

- ・一般乗合旅客自動車運送（ジャンボタクシー）による定時定路線型の運行
- ・住民ニーズを踏まえ、特定の商業施設や病院に絞ったルートを設定



②金井地区西部（かなみちゃんタクシー） ＜令和4年7月11日～＞

- ・一般乗用旅客自動車運送（小型タクシー）によるドアツードアの運行
- ・アンケート調査から、商業施設や病院が集積している嶋地区や山辺町方面を行き先に設定。



●実証運行に向けた協議・調整

③滝山地区

市南部を循環するバス「（仮称）南くるりん」の導入

④楯山地区

交通結節点となる楯山駅までの移動ニーズに対応



コミュニティサイクルの導入

令和4年10月3日
サービス開始

市内各所に設置されたサイクルポート間で、電動アシスト自転車を自由に利用できるシェアサービスです。

中心市街地の回遊時や、山寺などの観光拠点にてお使いいただけます。

■**利用時間** 24時間（年中無休）＊冬期間は降雪状況により休止の場合あり。

■**主なサイクルポート（順次拡大予定）**

山形駅周辺、市役所、山形クリエイティブシティセンターQ1

山形まるごと館紅の蔵、霞城公園（美術館前） など、11箇所

■**利用料金** 【従量料金】50円/15分毎（24時間上限1,600円）

【定額料金】1,000円/1日 ※令和5年3月末まで初回30分無料実施中

■**利用方法**



詳しくはこちら▶

1 会員登録する



①QRコードを読み取って専用アプリをインストールします。
②専用アプリのガイドに従って、会員登録をします。

App Store からダウンロード
Google Play でお申し込み



2 借りる



①専用アプリを起動。「借りる」ボタンをタッチします。
②自転車についている「QRコード」を読み込みます。
③利用開始（自動ロック解除）です。



3 返す



①サイクルポートに駐輪し、自転車をロック（レバーを降ろ）します。
②専用アプリの「返す」ボタンをタッチ。
③利用終了です。



スマートインターチェンジ整備・検討事業

■ 整備が進む高速道路ネットワーク

■ 東北中央自動車道

- 福島県相馬市～秋田県横手市 約268km
- 山形PA（パーキングエリア）平成31年4月13日開設
- 東根北～村山本飯田（ムヤマトイダ）**令和4年10月29日開通**
- 金山以南 **令和7年度までに全線開通**予定
- 米沢北～南陽高畠、山形JCT～天童 4車線化の国方針

■ 東北横断自動車道酒田線（山形自動車道）

- 宮城県村田町～山形県酒田市 約158km
- 寒河江～月山、湯殿山～鶴岡JCT 4車線化の国方針

■ 高速道路ネットワークのストック効果を最大限に活用

①（仮称）山形PAスマートICの整備

- 山形PAに接続
- 令和元年9月 新規事業化決定
- 令和2年度 詳細設計、用地測量
- 令和3年度 用地補償、畦畔工事など
- 令和4年度～令和5年度 整備工事、周辺道路の改良
- 令和5年度中の開通を目標

② 山形JCT（ジャンクション）周辺へのスマートIC設置検討

- 山形自動車道における山形JCT周辺（天神町・見崎付近）に設置検討。
- 整備効果について、多面的に検証。



山形パーキングエリアの利活用

■ 山形PAの活用

- 山形市を通過するだけの高速道路利用者の取り込み。（スマートIC整備に加えた、山形PAのさらなる活用策）
- ポテンシャルの高い、**西公園の活用**。
- 高速道路（山形PA）利用者が、**車を下すことなく、人だけが西公園へ移動できるアクセス施設**などの整備。

■ 西公園Park-PFIとの連携

- 西公園で導入予定の**Park-PFI**と連携した**一体的な利活用**を推進。
- Park-PFIに伴う物販・収益施設を高速道路（山形PA）利用者也利用。
- 物販・収益施設などを活用した情報発信や地域活性化への取り組み。

● Park-PFI導入 想定スケジュール

令和4年度
指針策定、事業者公募、協定締結
令和5年度～
事業実施、運営開始



道の駅整備事業

山形上山IC付近

道の駅「（仮称）やまがた蔵王」整備事業

【基本コンセプト】「山形の魅力を発信し、人の流れを生み出す道の駅」

- ①蔵王、そして山形の地域資源の魅力を発信し、人を呼び込むゲートウェイ機能を果たし、新たな人の流れを創出する空間
- ②周辺施設等の連携の要として道路利用者のみならず市民、そして周辺地域の住民が日常的に集い、山形を体感しながら心地よくくつろぎ交流できる空間

【施設概要】

- ・山形市表蔵王地内 敷地面積：約20,200㎡
- ・国との一体型による整備
- ・民間活力を活用するDBO方式により設計・建設・運営・維持管理を一括発注
- 休憩機能：トイレ、休憩スペース、駐車場、駐輪場
- 情報発信機能：情報発信スペース（観光情報、道路情報等）
- 地域連携機能：多目的スペース、商業施設、広場
- 交通結節機能：バス待合、バス停
- 防災機能：防災倉庫、非常用電源装置、受水槽等

【スケジュール】

令和3年度	事業者との契約締結	基本設計
令和4年度	実施設計	建設工事 10月着工
令和5年度	建設工事	12月オープン（予定）

外観 イメージ



■山形産の木材や蔵王石を使用したデザイン

情報発信・休憩コーナー イメージ



■山形の観光情報をリアルタイムに発信

【災害時は防災拠点】
・地域住民の一時避難場所
・救急・復旧活動する
関係機関の活動拠点



安全祈願祭(R4.10.7)

国道112号 山形中山道路・山形南道路

山形南道路

山形中山道路

【事業目的】

- ・地域間を結ぶ円滑な道路ネットワークの確保
- ・地域連携の支援

【事業概要】

- ・事業主体：国土交通省 山形河川国道事務
- ・延長等：L=7.4km、W=10m（2車線）
- ・事業年度：令和2年度～

【進捗状況】

- ・令和2年3月 新規事業採択決定
- ・令和2年度～令和3年度
現地測量、地質調査、道路・構造物設計、
用地調査等
- ・令和4年度（予定）
道路・構造物設計、用地調査、用地買収等

山形南道路

【計画目的】

- ・市内南西部の幹線道路における渋滞、事故等の課題解決

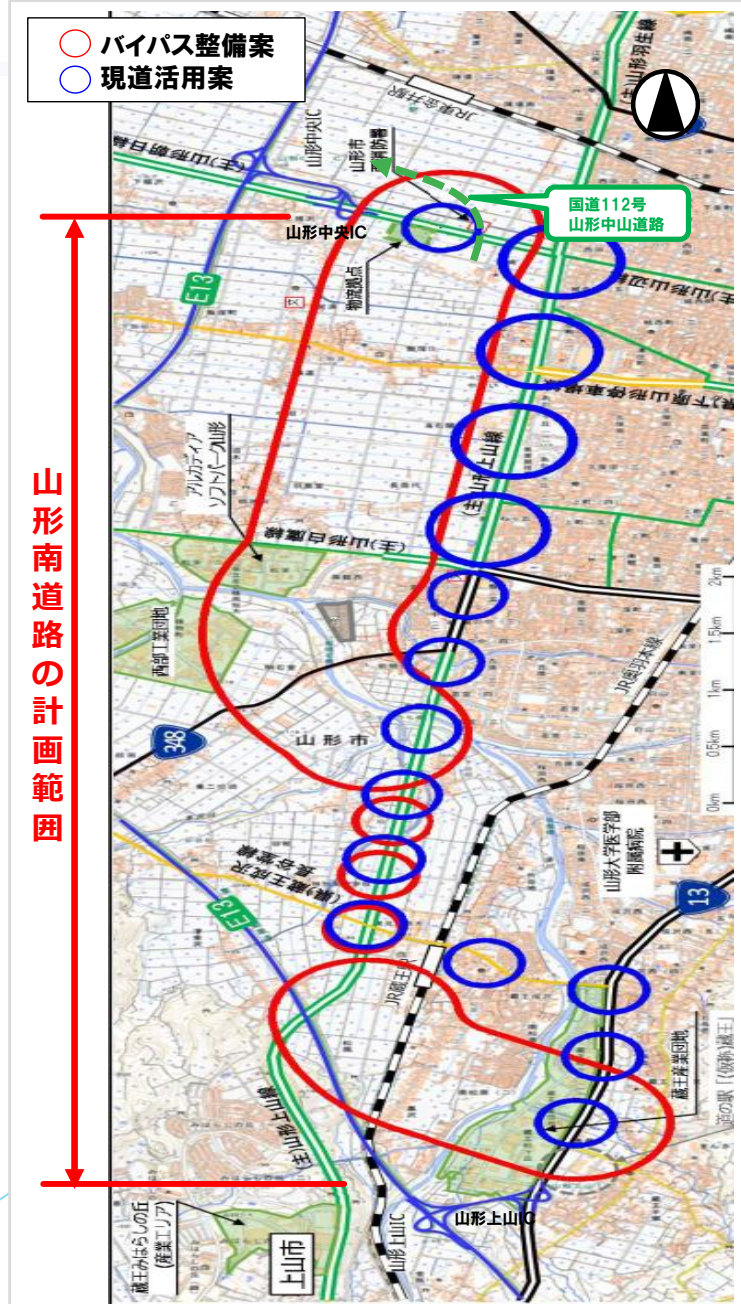
【概要】

- ・計画主体：国土交通省 山形河川国道事務
- ・計画検討年度：令和3年度～

【進捗状況】

- ・令和3年度～ 計画段階評価の実施中
地域住民や道路利用者の意見を伺い、概略
ルートや構造等の検討を行うもの
- ・令和4年11月4日 第2回東北地方小委員会開催
- ・今後の予定
計画段階評価を経て、早期の事業化を目指す

山形中山道路



重粒子線がん治療費助成事業

2021年 2月25日 山形大学医学部東日本重粒子センター 固定照射室での治療を開始

2022年 3月 8日 回転ガントリ-照射室での治療を開始

2022年10月 3日 **本格稼働** 予定していた全ての疾患（全15疾患）の治療を開始

■ 重粒子線によるがん治療とは

- ・痛みを伴わず傷跡も残らない体に優しい治療
- ・がん細胞に集中的に照射できるため、治療が短期間
- ・特に体の深い部分や不規則な動きをしない部位のがんに対し有効な治療法

■ 治療対象となるがんは

● 公的医療保険が適用となるがん

- ・前立腺がん ・頭頸部腫瘍 ・骨軟部腫瘍 ・脾臓がん
- ・肝細胞がん（4cm以上） ・肝内胆管がん
- ・大腸がん術後骨盤内再発 ・子宮頸部腺がん

● 先進医療対象のがん

- ・食道がん（ステージⅠ） ・肺がん ・肝細胞がん（4cm未満）
- ・腎細胞がん ・子宮頸部扁平上皮がん（6cm以上）
- ・婦人科領域悪性黒色腫
- ・転移性腫瘍（3個以内の肺腫瘍/肝腫瘍/リンパ節）

※詳しくは、東日本重粒子センターにご相談ください。

■ 重粒子線がん治療への支援 （先進医療対象のがん治療）

● 治療費に対する助成

重粒子線技術料から先進医療特約保険の給付金等を差し引いた額を対象とし、62万8千円を限度

● 治療費を借り入れた場合の利子に対する助成

重粒子線治療費の治療費を融資対象とする専用ローンの借入金とし、314万円を限度



ふるさと納税

■ 山形市ふるさと納税寄附金額の推移 (単位：千円)

